

受付番号	33
事業区分	経営者研修会事業
実施機関名	[URL: http://itc-fukui.jp/ ] (実施都市名: 福井県福井市 )
テーマ名称	
主催	主催: NPO法人 福井県情報化支援協会、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) 社団法人 日本システム・ユーザー協会、特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 後援: 福井県中小企業団体中央会
原稿作成年月日	平成 年 月 日
作成者名 (公開したい場合のみ記載)	[資格] [氏名] [E-mail] ・ ITC 横屋俊一 yokoya@knowledge21.jp ・
事業を支援した専門家名 (公開したい場合のみ記載)	[資格] [氏名] [E-mail] ・ ITC 横屋俊一 yokoya@knowledge21.jp ・ ITC 栢川昌文 tochi@mitene.or.jp ・ ITC 福田和夫 keief@spacelan.ne.jp ・ ITC 木戸健滋 k-kido@theia.ocn.ne.jp

〔キーワード〕 \* 検索のためのキーワード

RFP

福井市中央工業団地  
経営者研修会

〔テーマを取り上げた狙いと目的・目標〕 \* 簡潔に分かりやすく、できるだけ定量的に。

2008年のリーマンショックによって厳しい経済環境に置かれている中小製造業。この中小製造業の方に、座して景気回復を待つのではなく、近い将来に向けた経営革新を考えたいため、ITを活用したIT経営のプロセスを学んでいただくことを狙いとしています。また、これによって競争力と差別化優位性を構築することを目的としています。

〔研修会事業の概要〕

福井市中央工業団地協同組合に加盟している企業(主に製造業)を対象に、経営者向け研修を実施しました。3日間 18時間のカリキュラム構成で、経営戦略からIT企画、そしてRFPによるIT投資効率のよいIT調達の方法までを、演習と講義をとおして学んでいただきました。

〔研修会事業で使用するテキスト〕

これまでの3日版経営者研修会用テキストをベースに、福井オリジナル版として、下記内容を追加したものを作成しました。

- ・1日目 ハーマンモデルを活用した自己紹介とコミュニケーション
- ・3日目 ビールゲーム演習とシステム思考、要求事項の定義とRFP作成

〔研修会事業での成果〕

#### 1. 目的・目標に対して実現した成果

IT経営のプロセスを学び、IT経営の実践によって競争優位な企業になることを目標・目的として、当研修を実施しました。IT経営への道筋、アプローチは、これまでのITで何が可能なのかというITからのアプローチではなく、自社のあるべき姿、あるべき業務を描く経営戦略を基点としたアプローチが必要です。アンケート結果では、このことの理解がされたと実感しています。実現した成果です。

#### 2. 研修会事業で参加者の今後の活動に期待される成果

研修会終了後も他の支援機関(例えば、中小企業基盤整備機構)の支援を受け、IT経営の実践を確実なものにすることが期待できます。

## 〔研修会事業の評価〕

### 1. 研修会事業の成功要因

経営者向け研修であるため、受講者が経営トップまたは経営幹部であることが第一の成功要因となります。そして、研修会で学んだことを自社において実践してみること。研修内容は良かった、で終わったのでは、研修会事業の目的は達成されません。

### 2. 研修会事業での課題

中小企業は経営トップのリーダーシップがすべてです。そのためにも、当研修会事業には経営トップに参加してもらい、経営トップに気づいてもらう必要となります。研修会の広報時から、このことを意識して、いかに多くの経営トップに参加してもらうか、これは大きな課題です。

### 3. 研修会事業に対する実績評価・感想

今回の研修事業は、中小製造業にとって厳しい経済環境下、若手経営幹部を中心に熱心に受講していただいた。特に留意したことは、3日間という限られた日数で多くの演習や講義を行っても、受講生にとって消化不良を起こす恐れもあり、演習課題も3つに絞り、かつ講義も濃淡をつけた形で実施しました。結果、理解度は高かったようです。

テキストについては、事例を多くしたり、コンテンツを絞りこんでスリム化し、受講生の深い理解を得られる内容に改定する必要を感じています。